創立四十周年！

館邑会理事長挨拶

社会福祉法人館邑会は創立から40年が経過致しました。令和３年度は節目の年なので、本来ならば、利用者や関係者でお祝いをするところでした。しかしながら新型コロナウイルスの終息には程遠い現状を考えますと、特別な式典など行うことは出来ません。その代わり表紙に掲載いたしましたが、館邑会のロゴと理念を刷新することといたしました。

最初に「館邑会の理念」から考えてみることにいたしました。館邑会の発足当時の様子や背景を大切にしました。地域では養護学校（現在の特別支援学校）の卒業生の行き場がないため、安心して通わせるところが欲しいという強い要望に応えて通所授産施設陽光園が開所されたことを思い出しました。それから今日まで地域のニーズに耳を傾けながら必要とする福祉サービス事業所を展開してきました。

この様に館邑会では、館林・邑楽地域と共に歩んできたことが再確認できました。

そして、これからも「誰もが、幸せに・楽しく・安心して・この地域の中で輝きながら暮らせる。」このことを目指しながら発展し続けていきます。その他にも様々な考えや思いが数多く出されました。これらを取りまとめて、新しい館邑会理念が作られ、この思いを意味する、ロゴが作られました。

理事長　山川　博

笑顔を大切に！

陽光園

新型コロナウイルスとの戦いが続いている令和３年度。陽光園では、送迎車に乗車前の検温や送迎終了後の消毒、園内の消毒、アクリル板の設置等、対策を強化しています。

また、陽光園の利用者さんの年齢層が広がり、今後の高齢化を踏まえ、２班体制から３班体制でスタートしました。

A班は、段ボール組み立て作業や枕カバー作業を中心に取り組んでいます。各企業様のご協力のおかげで順調に仕事をいただき、利用者さんも生き生きと作業をしています。

B班では、構造化を取り入れながら個々に合わせた居心地のいい環境を作り、その人に合わせた活動を行っています。

C班では散歩など、身体を動かす活動を取り入れながら、体力低下を予防するための活動を行っています。

利用者さんの得意なこと、好きなことを発見したり、優しさやガンバリに触れるたび、それぞれに違った個性があることを感じています。みんなが楽しく集い、その笑顔を応援する場所。今日も陽光園には笑い声が響いています。

生活支援員

勤続25年　阿部稚子